

北浦工業野田塗装

自動車や建築、家具用部品を中心に金型加工から組み立てまで一貫生産体制を敷く北浦工業（東京都荒川区、北浦秀明社長）。その子会社の北浦工業野田塗装（CAL、千葉県野田市）は、建材や家電などの小型部品の粉体塗装を担う拠点だ。北浦秀明社長が「女性が働ける環境づくりがテーマ。人にも環境にも配慮した工場」と自信をにじませるCALは、ハイブリッド乾燥炉や廃熱を活用した省エネルギー化に取り組んでいる。

塗装ラインでは前処理工程から塗装、焼き炉を導入。この硬化

モノづくり現場
生産革新・脱炭素社会への挑戦

ハイブリッド乾燥炉導入



塗膜硬化時短でCO2削減

炉内に計36本の中赤外線ヒーターを配置し、ガスバーナーと併せて短時間で所定温度まで昇温して効率的に塗膜

この硬化炉内に配管を▲北浦工業野田塗装のワークの着荷場。ライン構造を工夫し、塗装工程を行うライン内部には人はほとんど入らない

さらに、この硬化炉内に配管を▲北浦工業野田塗装のワークの着荷場。ライン構造を工夫し、塗装工程を行うライン内部には人はほとんど入らない

【事業所概要】▽所在地 千葉県野田市西三ヶ尾82の2、03・38095・6367
1▽主要生産品目 小型の建築用部品、電気部品、オフィス家具用部品など▽年間CO₂排出量 130ト（21年度概算）